

やんばる野生生物保護センターでは、大人から子供まで楽しめる
自然とふれあう企画として、自然観察会や体験教室、講演会などの
イベントを下記のとおり予定しております。ぜひご参加ください。

主催・共催：やんばる自然体験活動協議会
担当：東恩納（協議会職員）
お申し込み・お問い合わせは 0980-50-1025 まで
★★ お気軽に、お電話ください ★★

自然観察会
～アジサシの観察会～
終了しました。
日時：7月5日（日）10：00～11：00
場所：名護市屋我地
講師：渡久地 豊（屋我地鳥獣保護区管理員）
多くの参加、ありがとうございました。

体験教室（小中学生対象）
～かんたん草木染め～
日時：8月20日（木）13：00～16：00
場所：比地区公民館
講師：東恩納 由美子（協議会職員）

講演会
～沖縄の自然歳時記・季節と生きものたち～
日時：10月予定
場所：やんばる野生生物保護センター
講師：安座間 安史（沖縄県教育センター）

自然観察会
～虫の鳴き声を聞き分ける～
日時：11月予定
場所：大國林道
講師：村山 望（新星出版）

講演会
～やんばるの森林利用の移り変わり～
日時：1月頃予定
場所：やんばる野生生物保護センター
講師：高嶋 敦（琉球大学与那フィールド）

体験教室（小中学生対象）
～昆虫標本づくり～
終了しました。
日時：7月26日（日）10：00～16：00
場所：やんばる野生生物保護センター
講師：後藤 健志（沖縄県職員）
多くの参加、ありがとうございました。

体験教室（小中学生対象）
～海辺の漂流物でクラフト作り～
日時：8月29日（土）13：00～16：00
場所：やんばる野生生物保護センター
講師：倉持 有希（環境省アクティブレンジャー）

講演会
～やんばるの植物相～
日時：11月予定
場所：やんばる野生生物保護センター
講師：横田 昌嗣（琉球大学教授）

講演会
～自動撮影カメラに写ったやんばるの生き物たち～
日時：12月頃予定
場所：やんばる野生生物保護センター
講師：小高 信彦（森林総合研究所九州支所）

自然観察会
～大宜味村の「猪垣」～
日時：2月予定
場所：大宜味村のネクマチジ山
講師：米須 邦雄（大宜味村役場職員）

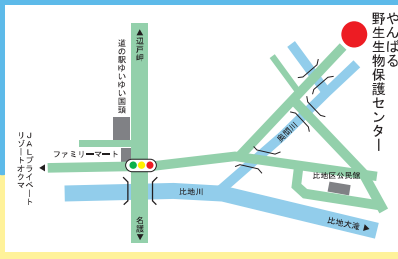
※詳しい内容については、チラシや村内放送等でお知らせいたします。また、講師の都合や天候により変更や中止になる場合もございます。

自然観察会
「アジサシ観察会」を実施しました
ベニアジサシ エリグロアジサシ

7月5日（日）に鳥獣保護区の屋我地島で鳥獣保護区管理員の渡久地豊氏を講師にお招きし、自然観察会「アジサシ観察会」を行いました。
今回観察できたアジサシは、“ベニアジサシ” “エリグロアジサシ” の2種類で、夏になると繁殖のためにはるばる遠くオーストラリアや東南アジアからやってくる渡り鳥です。青い空に、真っ白なアジサシが飛翔する姿や、繁殖行動などにみなさん「わあ！！」と歓声をあげていました。
しかし残念なことに、屋我地鳥獣保護区内でのアジサシ飛来数や繁殖状況は、年々少なくなっているとのことで、釣りやレジャーで繁殖地の岩礁へ人が近寄ることも影響の一因とのことでした。
アジサシの姿に魅了されたり、アジサシの現況を知って考えさせられたり、実のある観察会となりました。これからもずっと、夏の訪れを感じさせてくれるアジサシが見られる自然を残していきたいですね。



環境省やんばる野生生物保護センター
〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村比地 263-1 TEL：0980-50-1025 FAX：0980-50-1026
※ニュースレターのバックナンバー（旧号）は、やんばる野生生物保護センターで配布しているほか、環境省ホームページでもご覧頂けます。http://kyushu.env.go.jp/naha/nature/mat/m_2.html
開館時間：午前10時～午後4時半 入館料：無料
休館日：毎週月曜日・みどりの日およびこどもの日を除く祝日・6月23日（慰霊の日）・年末年始



やんばるニュースレター

発行：環境省やんばる野生生物保護センター

環境省やんばる野生生物保護センターでは、やんばるの自然環境や野生生物についての調査研究や保全のための事業、みなさんに理解・関心を深めていただくための普及啓発活動、また、自然環境の保全と利用の両立による地域振興を図るための国立公園化の検討などを行っています。このニュースレターでは、これらの取組の状況などを、3村のみなさんに広くお知らせしています。

No.10
Yambaru Newsletter
2009年8月
発行

- ～今回お知らせする内容～
- ・センターの展示をリニューアルします！
 - ・マングース捕獲事業について
 - ・辺土名高校インターンシップ生がセンターに来ました♪
 - ・アクティブレンジャーの試み ～朝の読み聞かせに参加～
 - ・平成21年度 イベント情報 など



写真：渡久地豊
～エリグロアジサシの親子～
毎年、沖縄に夏を知らせてくれる鳥です。5～9月に産卵、子育てのため東南アジアやオーストラリアから渡ってきます。

センターの展示をリニューアルします！

センターが開館したのは平成11年（1999年）4月でしたが、それから10年が経ち、取り組んでいる業務内容も様々に広がっています。それらの最新の内容を反映した情報を皆さんにお伝えしていくため、展示改修等の工事を行います。 担当：加藤（自然保護官）

- 展示改修にあたっては、
- ・やんばるの自然と生きものの複雑で奥深いつながりや、その重要性を面白く伝える。
 - ・地域の子供たちが学習に活用したり、自然環境に関心のある人が最新の情報を得られるよう、センターの機能をアップする。
 - ・最新の研究成果や地域の学校・団体の活動などの紹介ができるように定期的な更新スペースをつくる。
- などを盛り込んでいく予定です。



現在の展示場の様子

現在、新しい展示のデザインなどを検討しており、改修工事を冬頃に行う見込みです。魅力ある展示となるよう、3村の関係者の皆さんに集まっていただいて様々な意見を言っていただく場を設けたりしながら、計画を進めています。
どんな展示になるか、また進み具合をみなさんにお知らせしていきたいと思います。



展示に関する意見交換会の様子

- いただいた意見より
- ・センターの立地を活かして、自然の臨場感を感じられるようにしてほしい
 - ・センターを再度、訪れたいくなるような「目玉」が必要では
 - ・展示にストーリー性がある。わくわくさせる感じのある展開や、インパクトのある展示を
 - ・生き物のつながりの面からテーマを掘り下げたらどうか
 - ・森・川・海までのつながりを強調してほしい
 - ・見る、聞く、触れるなどのもっとあたたかみのある展示物にしてほしい
 - ・各学校の総合学習の発表でよいものをここで展示し、情報発信してはどうか
 - ・地域に開放されたコーナーを作ってはどうか など

マングース捕獲事業について ～ 在来生物の保全のために ～



マングースの導入と捕獲事業の経緯

担当：福地（自然保護官）、中田（自然保護専門員）



マングースは、1910年にハブと野ネズミの駆除を目的に沖縄島に導入された「外来生物」で、分布をやんばる地域まで広がっています。実際には、昆虫やトカゲ、鳥などを捕食することが多いため、やんばるにもともと生息する生きものにとって大きな脅威となっています。また、養鶏場に侵入して卵やヒヨコを捕食したり、農作物を食害したり、ヒトや家畜にも感染する病気や寄生虫などを持っているなど、私たちの生活にも影響を与えています。

このため、環境省は平成13年からマングースの捕獲を開始し、やんばる地域からマングースを根絶することを目標に、沖縄県と協力して事業を進めています。



やんばるマングースバスターズのお仕事

やんばるマングースバスターズ（総勢30名：うち19名は3村出身の方）は月曜日から土曜日まで毎日わなの設置や点検作業を行っています。また、作業中に見つけたヤンバルクイナやノグチゲラなどの在来生物の分布状況も記録しています。

わなの設置場所には赤いテープが必ず付けてあります。おいてある全てのわなを開けているわけではなく、定期的にわなを開ける場所を移動させながら効率的に捕獲作業を進めるようにしています。わなは触れると危険ですので、手を触れないようお願いします。



作業風景とわな設置を示す赤テープ
林内でも捕獲作業を実施しており、作業道として下草を刈ることがあります。

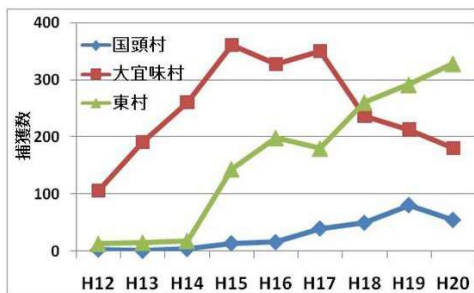
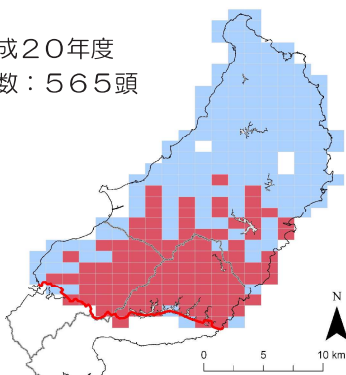


捕獲の実施状況

平成20年度のマングースの捕獲数は565頭でした。国頭村、大宜味村では平成19年度より捕獲されたマングースが減少したことから、マングースの生息数を抑えられていると考えられます。東村は捕獲数が増加していますが、これは米軍基地内での捕獲作業が進んだためであり、今後はマングースの捕獲数（生息数）が減少すると考えられます。

平成20年度
捕獲数：565頭

マングースの捕獲地域
■：捕獲あり、□：捕獲なし
マングースが捕獲された地域は国頭村伊地安波以南であり、昨年度とほぼ同じでした。
※沖縄県の捕獲結果を含む



3村それぞれのマングース捕獲数
※沖縄県の捕獲結果を含む



探索犬の導入について

マングースの捕獲効率を上げるため、今年度からマングース探索犬を導入しました。探索犬の役目は臭いを頼りにマングースやその痕跡（主に糞）を見つけ、それをハンドラー（飼い主）に教えるというもので、マングースに噛みつくようなことはしません。

この探索犬は、警察犬訓練士の指導の下で訓練を実施してきており、ハンドラーの命令に従いますし、人に危害を加えることはありません。探索作業の多くは林内で実施しますので、みなさんが目にする機会は少ないと考えられますが、もし林道などで見かけられたら、そっと見守っていただけますよう、よろしくお願いします。

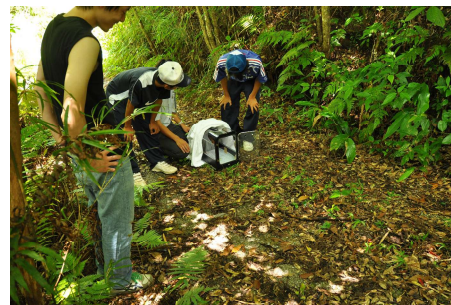


探索犬：ランディ
（ジャーマンシェパード メス）
見た目は怖いですが、非常に人なつこい性格です。

辺土名高校インターンシップ生がセンターに来ました♪

7月7日（火）～9日（木）の3日間、環境省やんばる野生生物保護センターにおいて、辺土名高等学校環境科2学年の生徒2名が就業体験（インターンシップ）を行いました。

島袋 開州（しまぶくろ かいしゅう） 出身：鏡地（国頭村）
平川 邦尚（ひらかわ くによし） 出身：安慶名（うるま市）



救護したヤンバルクイナの放鳥
新聞両紙にも取り上げられました



ヤンバルクイナ交通事故防止の看板設置



マングース捕獲わな点検

ヤンバルクイナの交通事故防止の看板設置やマングース捕獲作業、展示物入替作業など、センターでおこなっている様々な仕事を体験してもらいました。明るく爽やかなあいさつや、何でも快く仕事をこなす姿にこちらも元気と笑顔をもたらした3日間でした。「この経験を学校生活など、これからは活かしていきます」と言ってくれたことに、地元で学ぶ高校生たちに少しでも役に立てたのかなとセンター職員もみなうれしく思っています。島袋くん、平川くん、3日間お疲れさまでした。



島袋くん、平川くん、部活のサッカーと野球がんばって！



また、センターへ来てね！
待ってるよ。

二人が採集した
コンジテンナガエビとクロヨシノボリ
（センターの水槽で元気に泳いでいます。）

アクティブレんジャーの試み ～朝の読み聞かせに参加～

地域の子どもたちに自然のことを伝える機会を増やしていこうと、7月1日と15日に奥間小学校の朝の読み聞かせに参加しました。担当：倉持、新里（アクティブレんジャー）

初めての試みだったので、緊張してうまくお話できるか不安でしたが、奥間小の子たちの反応はよく興味を持って聞いてくれたようでホッとしました(^_^;)



1年生



2年生



3年生

「森のかくれんぼ」という本を使って、木の葉や枝に化けて身を守る虫や、花に化けて餌となる虫を待ち伏せするクモなど、忍者のような身近な生き物を紹介したり、奥間小で見られる昆虫を「夏の虫 夏の花」という本で探したり、子供たちと楽しい時間を過ごすことができました。

今回紹介したこれらの本はセンターの図書コーナーに置いてあります。

この他にもたくさん面白い本がありますので、夏休みの宿題や調べ事などにぜひご利用下さい。お待ちしております。